

Informa Marketsが
形成する
〈海事業界〉
グローバルネットワーク



日本と世界を繋げる国際海事展

SEA JAPAN

INTERNATIONAL MARITIME
EXHIBITION AND CONFERENCE

2024年4月10日(水) - 12日(金)
東京ビッグサイト 東1-3ホール

出展料金 (消費税別途)

自社手配にてブースデザインおよび設営を行う「スペース出展」、もしくは「基礎装飾付き出展」をご選択いただけます。
※最小お申込みサイズは9㎡です。※18㎡以下でのお申し込みは、「基礎装飾付き出展」となります。

スペース出展

早割特別料金: 2023年7月31日まで **¥56,000/㎡** 通常料金: 2023年8月1日以降 **¥58,000/㎡**

基礎装飾付き出展

【含まれるもの】

展示スペース、サイドおよびバックパネル、社名板(和英表記)、カーペット、イス2脚、受付カウンター、ゴミ箱、スポットライト2灯、コンセント2口、1kwまでの電気使用量および電気幹線工事費、毎日の小間内清掃

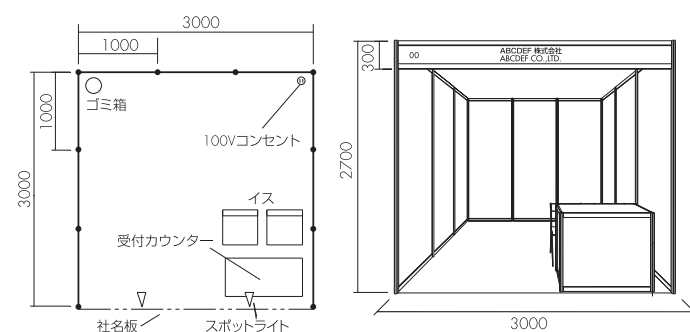
早割特別料金: 2023年7月31日まで

¥74,000/㎡

通常料金: 2023年8月1日以降

¥76,000/㎡

基礎装飾付き出展 9㎡(イメージ)



〈ご出展料金 上記の場合〉

早割特別料金 **¥666,000** (74,000円/㎡×9㎡) 通常料金 **¥684,000** (76,000円/㎡×9㎡)

出展申込方法

ご出展が決定次第、出展申込契約書に必要事項をご記入の上、Emailにて事務局までお送りください。
なお主催者が出展品目などについて適当でないと判断した場合や、申込期限内に小間が埋まってしまった場合などは、ご出展をお断りすることがございます。予めご了承ください

出展申込期限: 2023年11月30日(木)

次なる原動力は?

新設
オフショア・港湾技術展

Offshore &
Port Tech
2024 in Sea Japan

主催

informa markets

www.seajapan.ne.jp



過去最大規模での開催へ！ 次なる原動力は？



船舶運航のための次なるエネルギー源とは？ そして、海事ビジネスの未来にむけた原動力とは？

1994年の日本初開催以来、時代の流れと業界ニーズに合った様々なテーマのもと開催してきた Sea Japan。15回目を迎える今回は、クリーンエネルギーにフォーカスし、業界の新たな航路を探ります。カーボンニュートラルに向けて、船舶を運行するための新たなエネルギー源の確立が次なる課題となっている海事産業。「水素」「アンモニア」「液化天然ガス（LNG）」「電気」をはじめとしたクリーンエネルギーのうちどれがこの先業界をリードしていくのか、そして、業界は、その新たなエネルギー源の実用化に向けての効率化や安全性確保のためにどのように取り組んでいくのか。Sea Japan 2024では、この課題にスポットライトをあて、海事業界全体に問いかけます。環境保護や DX のための新たなテクノロジー、人材育成、そして新事業開発。Sea Japan は、これらの課題に対応するための最新のテクノロジーや情報を集結する国際的な業界ネットワークの構築のためのプラットフォームとして、「船舶」や「海」から広がる新たなビジネスチャンスを創出します。

開催概要

展示会名：Sea Japan 2024
会 期：2024年4月10日（水）～12日（金）
会 場：東京ビッグサイト東1ホール～3ホール
主 催：インフォーマ マーケッツ ジャパン株式会社

特別協力：日本財団

後 援：国土交通省、（一社）日本船主協会、日本内航海運組合総連合会、
（前回実績）（一社）日本造船工業会、（一社）日本中小型造船工業会、
日本船舶輸出組合、（一社）日本海運集会所、（一社）日本舶用工業会、
（一社）日本旅客船協会、（一社）日本長距離フェリー協会、
日本貿易振興機構（ジェトロ）

新 設 展：Offshore & Port Tech 2024

出展対象（Offshore & Port Tech を含む）



造船、舶用機器メーカー（軸系及びプロペラ、係船・荷役機械、船用ボイラー、冷凍機・空調装置、発電機・電動機、公害防止機器・環境保護、塗料・塗装機器、安全設備・防火設備、ディーゼル機関及び推進装置、配電盤・起動器・制御器、電気器具、熱交換機、油圧機器、油処理装置、空気機械、ポンプ、船用タービン、弁・管継手、計器類、船用燃料・潤滑油、操舵・操船装置、錨・錨鎖・ロープ、居住設備、航海計器・通信機器・電波計器）、作業船/特殊船、船舶修理/船舶関連技術、浮体式洋上風力関連、海洋再生可能エネルギー発電設備/装置/海洋構造物/部品/システム、石油・ガス開発関連、エネルギー貯蔵/輸送/供給設備、水素・アンモニア燃料関連技術、CO2回収技術/装置、埋立/浚渫、掘削機械/サービス、荷役・輸送機械、センサ/検査/計測/測定機器、自動化/制御システム、離着岸技術/装置、係留/位置決め/アンカー、ポンプ/クレーン/吊り金具、コンプレッサー、ロープ/チェーン、掘削機、ケーブル、溶接、塗装、海底探査技術、通信機器、ロボット、ドローン、AI/シミュレーション/ソフトウェア、照明、セキュリティ/安全設備、調査、省エネ技術、コンサルティング、人材育成/採用、気象サービス、保険/金融サービス、出版/情報、商社、システムおよびソフトウェア、海事製品・サービス全般/その他



point

1

ポストコロナにおける本来の Sea Japan の姿へ ～ 国際海事展としての再開

Sea Japan の大きな魅力のひとつである海外からの参加者。アフターコロナでの開催となる今回は、Sea Japan 2022 では参加が叶わなかった多くの海外からの出展社や来場者が戻ってきます。日本と世界市場を結ぶプラットフォームとしての Sea Japan の役割を更に強化すべく、Informa が形成するグローバルネットワークによる各イベントと連携し、海外プロモーションを展開していきます。

point

2

オフショア&港湾技術展が誕生！ ～ 新たなビジネス展開への挑戦

オフショア・港湾技術にフォーカスした「Offshore & Port Tech」を新設。注目集めるブルーエコノミーや、洋上風力発電をはじめとした海洋再生可能エネルギー開発、そして活発化するカーボンニュートラルポートへの取り組みなど、新たな海洋事業と海事産業との技術や情報交換の場を提供することで、新たなビジネスチャンスを創造します。



point

3

リアル展示会と強く連動する オンラインツールの活用

コロナ禍での開催となった Sea Japan 2022 で体感した「リアルイベントの重要性」と「オンラインツールの可能性」。この体験をもとに Sea Japan 2024 では、「来場者との事前の商談設定を可能にすることで会期中の商談の質を向上させるマッチメイキングサービス」や「事前に製品やサービス内容を的確に来場者に告知するための出展社によるオンラインプレゼンテーション」、そして「海外のキーパーソンによるオンラインセミナーの開催」や「日本の海事産業の今を伝えるセミナーの海外配信」など、引き続きリアルイベント自体の付加価値を高めるオンラインサービスを導入していきます。

point

4

高質な業界セミナープログラムや 人材育成のための多彩なイベントを併催

国際会議をはじめ海運・造船のトップリーダーや、協会団体などによる今業界全体が欲しい情報をご紹介する多彩なセミナープログラムや次世代の産業を支えるための人材育成を目的とした多彩な併催イベントも Sea Japan の大きな魅力です。また出展社にのみ提供されるオンラインおよび会場内プレゼンテーションもあり、ターゲットとなる来場者に直接製品や技術を発表することができます。

実際に出会い、
話すことの重要性を
再認識した三日間

2022年4月、東京ビッグサイトにて開催された Sea Japan 2022。コロナウイルス感染が完全には収まっていない中での開催でしたが、3日間を通じて350社が出展、18,183名の方が来場という、多くの方々にご参加いただきました。展示会場では、DXや環境保全をメインに活発な商談が行われました。Sea Japan 2024では、海外参加者や新設の Offshore & Port Tech からの連動により、これまで以上に多くの高質な商談が期待されます。

What's happened in Sea Japan 2022?

前回開催実績



出展社数

国内：**308** 海外：**42**
合計：**350**



来場者数

3日間：**18,183**

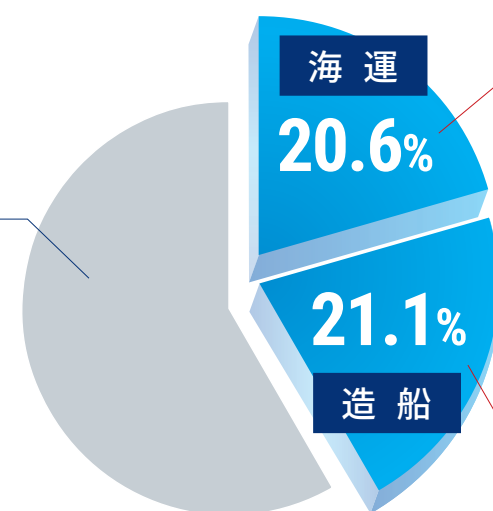


出展国および地域
16

業種

全体来場者の **造船、船舶修理、海運会社、船主、船管理** の割合 **41.7%**

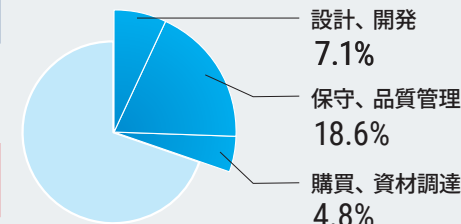
- 船舶用機器・装置・サービス等の製造、販売
- 官公庁・団体・協会
- 金融・損保
- 港湾関係
- 出版・プレス
- その他



海運会社関連の来場者の職種比率

海運会社、船主、船管理を
職種とする来場者の
設計、開発、保守、品質管理、
購買、資材調達 の割合

30.5%



造船会社関連の来場者の職種比率

造船、船舶修理を
職種とする来場者の
設計、開発、保守、品質管理、
購買、資材調達 の割合

42.9%

